

(株式会社NTTドコモ 関西支社)

監視表示板・表示灯と通信モジュールによる防災対策システム

課題

- ✓ 東日本大震災以降、緊急地震速報等による「安心・安全」への意識が高まる中、エリアメール対応携帯電話利用者が5,000万人を超え、導入自治体も90%以上と個人に対する対策が進んでいます。一方、関西地区は南海トラフ巨大地震等が予測されており、災害時における高齢者や増加する訪日外国人に対する緊急情報通知、避難誘導のあり方を、より多様にかつ具体的に検討することが急務とされています。

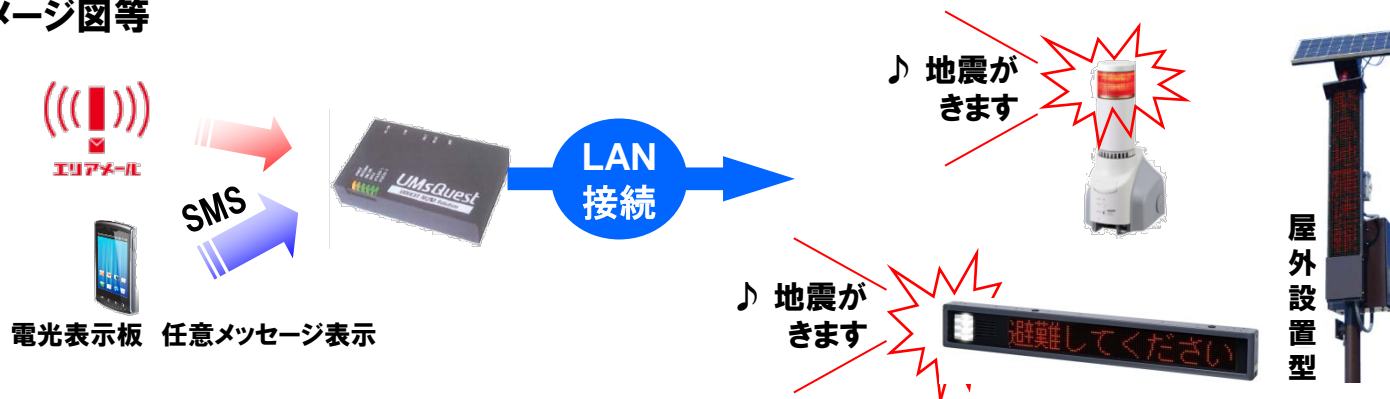
提案内容

- ✓ MP3再生ネットワーク監視表示板や表示灯と通信モジュールを活用し、携帯電話が持ち込めない・使いにくい場所（工場、工事現場、イベント会場など）でも、通常時は案内表示板としても活用しつつ、有事においてはエリアメールと連動した防災情報を光・音・文字で素早く配信することで、より多様な住民告知の方法を実現する防災対策システムを提供いたします。

効果

- ✓ 本システムは比較的低コスト、短納期しかも専門知識が無くとも導入することが出来、FOMAのエリアを利用することで広範囲での設置効果が見込めます。
- ✓ 従来、自治体にて導入を推進している防災システムを補完するシステムとして有効です。

イメージ図等



【問合せ先】

株式会社NTTドコモ
関西支社 法人営業部
法人企画 ソリューション推進担当
06-6457-8480

原 harato@nttdocomo.com
土居 doid@nttdocomo.com

監視表示板・表示灯と通信モジュールによる防災対策システムー想定利用シーンー



公共施設
商業施設

金庫の施錠

銀行



機器の自動停止

工場
オフィス

イベント会場

人が多く集
まる場所

地震到来ま
での対応動
作が必要な
場所



病院、薬局
介護施設

携帯スマホ
を所有して
いない

音声が聞き
取りにくい
場所

空港、駐車場
バスターミナ
ル

高齢者・若年者

幼稚園、
小中学校

訪日外国人

視覚・聴覚に訴える

